

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて
中目黒 ⇄ 代官山 ⇄ 並木橋 ⇄ 渋谷 ⇄ 宮下公園 ⇄ 表参道 ⇄ 新国立競技場を結ぶ
“連続する緑の文化十字路”が更に深化します。
歩いて楽しめる成熟社会のオリンピックレガシーにしよう！

代官山ステキ総合研究所では昨年の「フォーラム代官山」(2015年3月20日)で「連続する緑の文化十字路」を発表しました。発表後、多くの方からご意見やご提案を頂きました。同時に、2020年東京オリンピック・パラリンピックが近づくにつれ、日増しに増加するインバウンド顧客への対応も、単に宿泊・グルメ・ショッピングだけでなく、日本の文化・歴史をもっと深く知りたいという声も聴きます。

渋谷区では、渋谷駅前に観光案内所を設け外国語での案内ができるサービスを始めています。また宮下公園の細長い敷地を有効に活かす新しいコンセプト（立体都市公園）を提案しリニューアルすることを発表しました。ここは渋谷川にそそいでいた旧隠田川にそったルートの上にあり、キャットストリート・表参道を越え明治神宮・新国立競技場へとつながる道です。そうすると本紙で紹介した、三田用水の江戸～明治～大正～昭和～平成につながり東京（日本）の歴史探索の旅が過去から未来へとプログラムされます。

三田用水の用水路そのものは無くなり見ることはできません。しかしこの用水路が残した文化資源・景観資源は豊富に残っています。云い代えれば渋谷のすぐ近くに、日本の近代化を支えた物語が豊富に埋蔵されているということです。

この貴重な資源にスポットをあてて、江戸・東京の文脈で現代文化や日常を語ることができれば、海外の友人たちと語り合う楽しい交流が可能になるのではないのでしょうか？

また、この道を「世界一歩いて楽しい道」と掲げることによって、Wi-Fi環境・多言語化サービスの普及、ピクトグラムサイン・案内システムの充実、無電中化や緑の自然環境などを進め、景観に配慮した安全な街並みが実現すれば、私たちの誇りになります。

この道は健常者のもとより、障がい者、高齢者、子供たち、の誰にも優しく、楽しくコミュニケーションができる場となります。そうすれば成熟社会の都市環境の事例として、世界に提案することが可能になります。



出典：①②③東京都立中央図書館特別文庫室所蔵 ④国立国会図書館蔵



1999年に開設。代官山エリアのコミュニティポータルサイト。2014年4月からNPO法人代官山ステキ総研が運営している。
<http://daikanyama.ne.jp>

NPO法人
代官山ステキ総合研究所

1992年、東京都から認証されたNPO法人。代官山の地域シンクタンクを標榜している。その活動目的はさまざまな視点から地域ブランド（地域価値）を調査、研究し、地域の活性化・情報化に資するコミュニティ・デザインの開発・提言等を行う。

http://daikanyama.ne.jp/dsi/
〒150-0033
渋谷区猿楽町30-8ツインビル代官山B-601

発行：NPO法人代官山ステキ総合研究所 理事会
執筆：岩橋謹次 平松由美
協力：朝倉不動産(株) 代官山T-SITE
デザイン：スギヤマデザイン

©2016 NPO法人DSI Tel 03-3496-1616

DAIKANYAMA Press & Map

広域代官山の文化地誌と代官山名所旧跡マップ

代官山新聞 Mar.18,2016 編集・発行：NPO法人代官山ステキ総合研究所

江戸・明治・大正・昭和と320年間、流れ続いた用水路
台地上の本筋と谷戸の分水が残した文化的景観は地域のレガシーだ。

“三田用水”が残したもの

1654年、江戸時代4代将軍家綱の時代に玉川上水が完成。その10年後、三田用水は下北沢村で分水され、渋谷・代官山・白金を通り暗渠も混じり品川海岸まで通じ、多摩川の水が多様に地域を潤していた。この三田用水が残した歴史と文化遺産をご紹介します。

徳川家康の都市計画

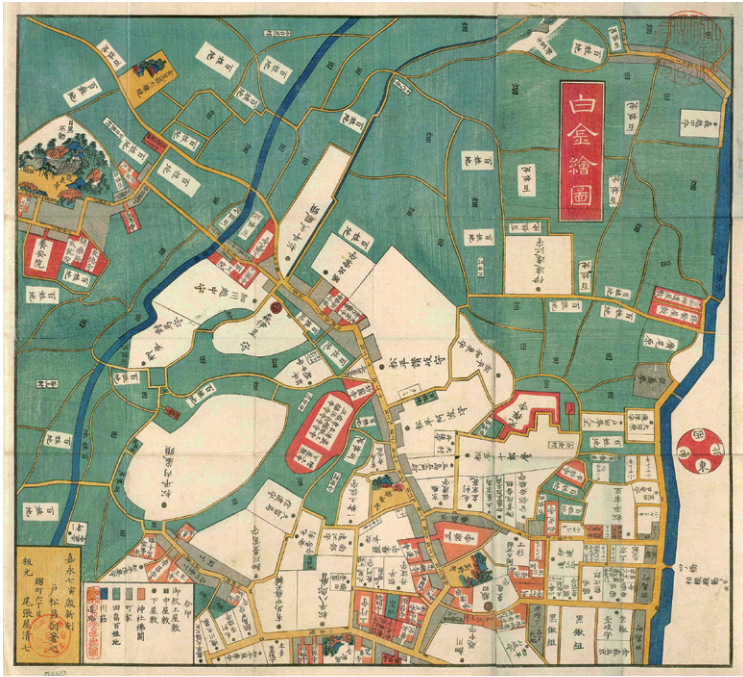
征夷大将軍、徳川家康が慶長8(1603)年に江戸に入府し、参勤交代や大名の正妻嫡子の江戸在府制等が定着してくると、江戸の人口は増える一方となりました。

家康は全国の大名に江戸の大普請を命じ大改造に入りました。江戸の初期は日比谷、銀座、日本橋、築地等は神田山を削り埋め立て造成をしました。しかし人は住めても、井戸水は塩辛くて使えなかったのです。

小田原城攻めの時に家康は海岸近くで陣を構え、多くの街づくりを学んでいます。そのひとつは早川から分水した「早川上水の良水確保」です。

3代将軍家光のころ、多摩川の水を江戸に引く「玉川上水」築造が決定しました。承応2(1653)年4月に着工、同じ年の11月に多摩川羽村から四谷大木戸まで43Kmの「玉川上水」を完成させました。

高低差92m。幅5.5mを素掘りの開渠で完成。大変な工事でしたが熟達した測量技術、



江戸図「白金絵図」② 中央の大きな敷地は松平讃岐守の下屋敷で今の自然教育園。右に渋谷川、左に目黒川と目黒不動。中間には千代が池への三田用水も見える。



「名所江戸百景」「目黒千代か池」① 歌川広重(初代)画 1856年
島原藩主、松平主殿頭(まつだいらとものかみ)の抱屋敷。三田
用水の水が滝となり「絶景観」といわれる大名庭園にあった。

用地や大名の下屋敷が多く、余水の灌漑利用も多く、1724年に農業用水として「三田上水」から「三田用水」に名称が変更され復活しました。

三田用水の特徴

三田用水の大きな特徴は目黒川水系と渋谷川水系の間の西渋谷台地・白金台地の頂上を縫うように分水嶺を流れていたことです。最初は大名の上水・飲料水・庭園修景等に使われましたが、その後農民の灌漑用水に役立てただけでなく、稜線を走る三田用水と目黒川、渋谷川との落差を利用した水車の動力を活用。明治期は近代工業用水として活躍しました。これは三田用水が地域の要請に役立てただけでなく時代の要請にも役立ったということで、三田用水の歴史が単に江戸期の上水・用水の歴史だけでなく、わが国の近代化に大きく貢献していたということです。

幕末、開国に向けて

ペリー来航を契機に江戸防衛のために品川の御殿山・八つ山を切り崩し、砲台つきのお台場がつくられました。同時に海軍省は水利（水車動力・蒸気動力）と完成品の河川運搬が利用しやすい立地として三田用水と目黒川の間にわたる「目黒火薬製造所」を建設しました。現在は防衛省の施設となっています。



出典『旧三田用水が形成した文化的景観の歴史的変遷と再生に関する研究』（対象地域の設定）
牧寛2010年12月より

広域代官山に残る 三田用水の記憶

 東急トランセ 代官山循環線
  東急バス (恵31系統)
  東京外口日比谷線
  郵便局
  寺院

 東急バス (渋71系統)
  ハチ公バスルート
  鎌ヶ崎 交差点
  交番
  教会

 東急バス (渋72系統)
  東急東横線
  公園
  学校
  図書館

 東急バス (渋41系統)
 JR山手線・埼京線
 坂
 神社
 博物館

右図中央やや下に旧山手通りや渋谷と目黒の区界が見られます。三田用水はこの近辺を流れていたようです。鉦が埼交差点には駒沢通りをよぎって空中に水路があったことを記憶されている方も多いのではないのでしょうか。今では姿を消した用水路とこの近辺に縁の深い歴史をご紹介します。

1 元富士（渋谷区猿楽町29-2）と 2 新富士（目黒区中目黒）

宝永噴火（1707年）を最後に富士山の噴火が鎮まると「六根清浄」を唱えながら登る「富士講」が盛んになりました。富士講は近所の仲間で行き先を定め、旅費を積み立てます。しかし老人や子供に富士登山は厳しいので、近くに「富士塚」を築いて富士遥拝の場としました。文化9（1812）年、上目黒村の富士講の人々が目黒川（目黒川）の上に「目黒元富士」を築き、高さ12メートルの山頂に浅間神社を祀りました。また、文政2（1819）年に沢村宗之助が有名近藤重三は近くに「新富士」を建造しました。どちらも目黒川に面する崖の上にあり富士山の眺めは抜群です。今は撤去されていますが、広重の『名所江戸百景』から当時を偲ぶことができます。



「名所江戸百景」「目黒元不二」③(左)と「目黒新富士」④(右)
歌川広重(初代)

3 西郷山公園と庭園遺跡（目黒区青葉台）

旧山手通り沿いにある「西郷山公園」は、西郷隆盛の弟で日本海軍の基礎を作った日本最初の海軍元帥、西郷従道が別邸として土地2万5千坪を購入。明治20年にフランス人技師レスカルによる西洋館と、日本人棟梁・鈴木孝太郎による和館を建てました。三田用水からの滝や池を整え、内外要人を招く迎賓館として活用しました。西郷が海軍大臣であった明治22年5月には明治天皇の行幸があり、2階のベランダから展覧相撲をご覧になったといわれています。もともとこの土地は明暦大火の翌年(1658年)、岡藩の中川氏が譲渡された土地に周辺を買い足し、抱え屋敷にしたところです。中川氏は目黒川の河川段丘を背に、山腹からは清水が湧き、富士山が見渡せる景観に魅かれ、老松や楓を植え、池には廊下を渡し、大名庭園の典型である回遊式池泉庭園としました。この庭園は江戸の名所ガイド『江戸砂子補正』に紹介されています。現在は博物館明治村に移築、公開されています。



西郷縦道邸(重要文化財) 博物館明治村提供

4 旧朝倉住宅（渋谷区猿樂町29-2）

幕末から現在の場所(猿楽町)で精米業を興し、後に東京府議会議長を務めた朝倉虎治郎氏によって大正8年に建てられた2階建ての日本家屋。平成16年に重要文化財に指定されています。庭園は猿楽町の南西の斜面を利用した回遊式で、春はツツジや新緑、秋はモミジなどの紅葉が楽しめます。入館時間：10時～18時(11～2月は16時30分まで)、最終入館は30分前まで。月曜(祝日の場合は直後の平日)、年末年始、休館。観覧料：一般100円、小中学生50円、年間観覧料500円。車での来場は不可。

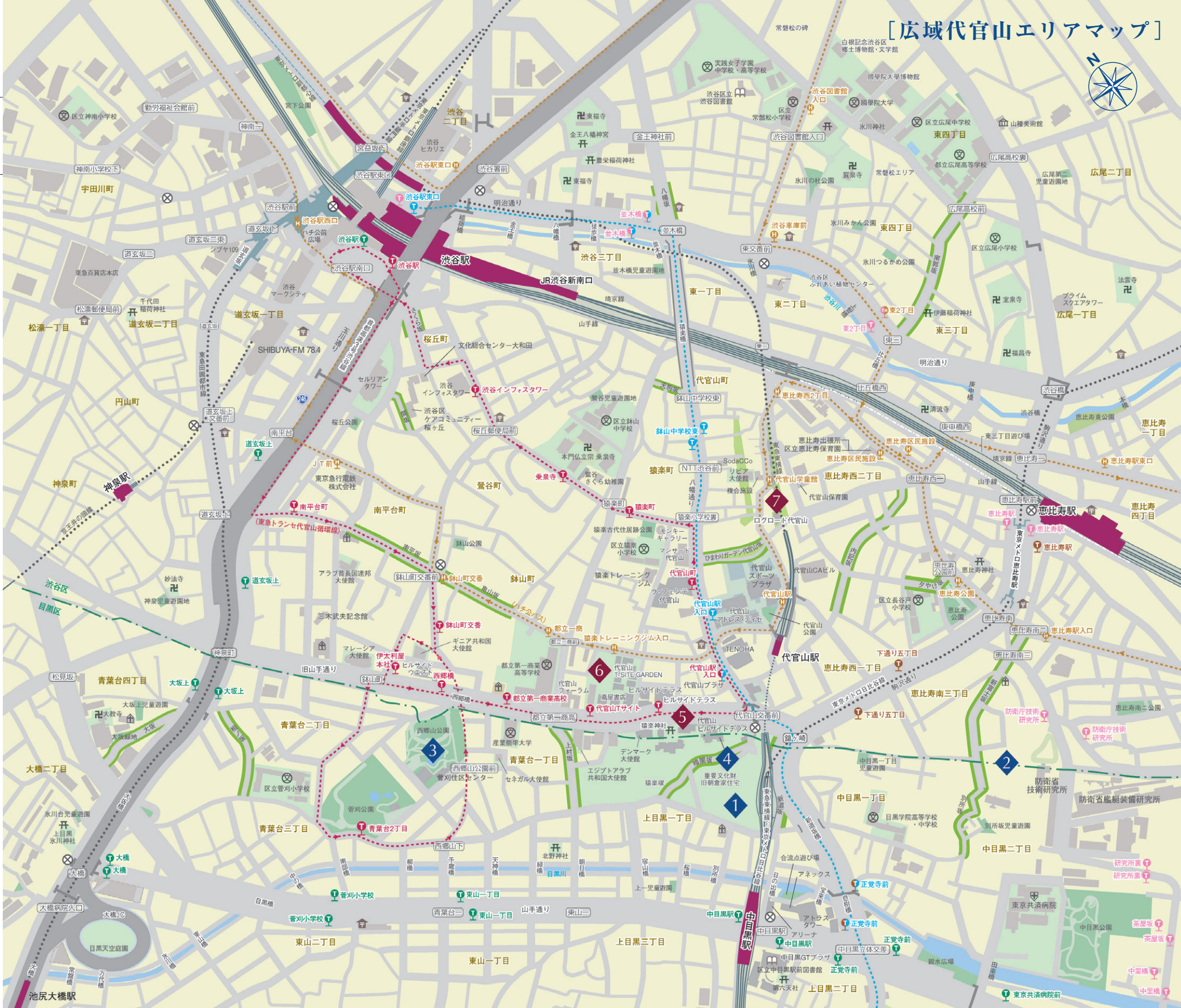


旧朝倉住宅（重要文化財）渋谷区提供

三田用水の時代別利活用の変遷

	江戸	明治・大正	昭和	現在
利用形態	大名屋敷→農業	農業→工業	工業→廃止	—
水路	分水が始まる	明治に最も分水	暗渠化→廃止	遺構が一部残る
富士塚	2基(目黒元茶土・目黒新富士)	1基(目黒新富士)	撤去	説明版
坂	行人坂茶屋など	新道坂ができる大坂の整備	新茶屋坂ができる	江戸からの坂が多く残る
水車	—	33基	3基	松濤鍋島公園などに一部残る
庭園	絶景観などの大名庭園	西郷従道邸などの邸宅庭園	八芳園・雅叙園の創設 邸宅庭園の公園化	八芳園・雅叙園・西郷山公園 池田山公園など
寺社	品川・高輪・大崎に集中	品川・高輪・大崎に集中	雑子神社など	泉岳寺など
その他	駒場野・品川御殿山	新道坂の水路橋	新茶屋坂の水路橋	水路橋が無くなる

出典『旧三田用水が形成した文化的景観の歴史的変遷と再生に関する研究』(時代別変遷のまとめ) 牧寛2010年12月より



5 代官山のランドマーク
ヒルサイドテラスの誕生

代官山は「ヒルサイドテラス」抜きには語れません。1968年、建築家・榎文彦氏と朝倉不動産の出会いに始まり、200mにわたる街なみが時間をかけて創られました。朝倉不動産は30年間の活動に対して「1998年メセナ大賞」を受賞。「地区のセンターの役割を超えた、創造的な文化のインキュベーターとして多年にわたる貢献と実績が深い共感を呼んだ」と評されました。



6 DAIKANYAMA T-SITE
代官山 蔦屋書店

「代官山 蔦屋書店」はヒルサイドテラスGH棟に隣接して2011年に誕生。景観を大切に地域に溶け込むよう、低層の3棟が並んでいます。「書店」といっても一般的な書店ではなく、雑誌をはじめライフスタイルを豊かにする、多数の文化的情報とサービスが集積している「文化の森」です。毎日新しい発見があるこの空間は、世界に例を見ない魅力的な書店です。



7 LOG ROAD DAIKANYAMA
ログロード代官山

2015年4月、東急電鉄は東横線の地下化で生まれた線路跡地に「LOG ROAD DAIKANYAMA」を開業しました。全長220mの細長い敷地には四季折々の花と緑を楽しめる散策路が通り、5棟の商業店舗にはクラフトビールの店やベーカリーが並びます。線路跡地とほぼ並行にある代官山通り（旧・キャッスルストリート）と行き来しながら、自由な散策が楽しめます。

